

共通開講科目(アオッサ) シラバス入力票

項目	入力欄
科目名/提供大学名	ビジネスコミュニケーションⅣ/福井工業大学
科目名(英文)	Business CommunicationⅣ
対象学年	原則として、全学年。
開講時期	後期
単位数	各大学の扱いに委ねる。
科目区分	原則として、選択。
授業形態・開講形態	演習
担当教員名	ブラッドフォード リー
オフィスアワー	講義の前後に質問等を受け付けます。
教員メールアドレス	
概要	国際的なビジネスシーンを想定したテキストを用いて、ビジネス英語に必要な表現を学ぶ。
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	国際的なビジネスの現場において英語でディスカッションやプレゼンテーションを行えるような高度な英語コミュニケーション能力の習得を目指す。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	実際のビジネスの現場で必要とされる英語表現を習得する。また英語によるプレゼンテーションの技法を学び、自分の考えを英語で発信できる能力を身に付ける。さらにビジネス英語に関連する語彙を習得することによりTOEICのスコアアップを目指す。
授業計画・授業内容	第1回:オリエンテーション 第2回:Unit 7 Complaints and problems(クレームを伝える表現・クレームへの対応表現) 第3回:Unit 7 Complaints and problems(ホテルでのクレームの対応表現) 第4回:Unit 8 Checking progress(旅行の手配に関する表現) 第5回:Unit 8 Checking progress(新規ビジネスの展開に関する表現) 第6回:Unit 9 Future prospects(ビジネスのトレンドを予測する表現) 第7回:Unit 9 Future prospects(長期的なビジネス展開を予測する表現) 第8回:Unit 7~Unit 9の復習と中間テスト 第9回:Unit 10 Regulations and advice(就業規則に関する表現) 第10回:Unit 10 Regulations and advice(同僚に職務上のアドバイスをする際の表現) 第11回:Unit 11 Meetings and discussions(会議で自分の考えを提案する際の表現) 第12回:Unit 11 Meetings and discussions(会社のウェブサイトについて議論する際の表現) 第13回:Unit 12 Speaking in public(プレゼンテーションの方法を学ぶ) 第14回:Unit 12 Speaking in public(様々な場面でのスピーチの方法を学ぶ) 第15回:Unit 10~Unit 12の復習と期末テスト
授業方法	ネイティブ教員とのコミュニケーションを中心とした発信型の授業を行う。
キーワード	ビジネス英語、コミュニケーション、ディスカッション、プレゼンテーション
教科書	『Business Venture 2 Student Book』Oxford University Press
参考書	
評価方法・評価基準	試験2回40%(20%×2)と授業への参加状況60%により総合的に評価する
関連科目	ビジネスコミュニケーションⅢ
履修の要件	
必要な事前・事後学習	事前に知らない単語の意味を辞書で調べておくこと。
その他・注意事項	